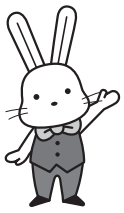
PICK UP



各常任委員会及び分科会に付託された議案審査の主な内容を紹介します。

総務　市制施行120周年記念プロジェクト

令和９年４月に市制施行120周年の節目を迎えることから、郷土の歩みを未来へつなぎ、新たなまちづくりの礎とするという理念のもと記念プロジェクトを実施する。

（主な質疑と答弁）

問：110周年記念事業から変わった点は。

答：市内の全小・中学生からロゴマークのデザインを公募し、投票により採用デザインを決定するなど、幅広い市民参画を促すプロジェクトとなるよう工夫した。

問：記念プロジェクトの周知方法は。

答：市ホームページ内に特設ページを開設し、冠イベントや協賛イベントをPRすることで、切れ目のない継続的なプロジェクトの展開に取り組む。

文教福祉　福島市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正

こども性暴力防止法(以下：法)の施行による国の基準改正に伴い、子どもと接する場における性暴力を防ぎ、子どもの心と身体を守るために、認可保育施設等の対象事業者が講じなければならない措置を規定するため、関係条例の改正を行う。

（条例改正の主な内容・施行日）

法に規定される必要な取組(安全確保措置や犯罪事実確認、防止措置など)を対象事業者に義務付ける。施行日は、法の施行に合わせ、令和８年12月25日。

（主な質疑と答弁）

問：防止措置として、性暴力のおそれがあると判断される場合をどのように把握するのか。

答：保護者や子どもたちへの面談、アンケートの実施、相談体制の整備により早期発見できるよう対応する。

経済民生　ふくしまシティハーフマラソン事業費

来年度の2027大会は、令和９年５月16日に開催予定であり、本年度中に大会に向けての準備及び参加者募集を円滑に進める必要があるため、債務負担行為4,800万円を追加する。

（主な質疑と答弁）

問：来年度開催予定のふくしまシティハーフマラソンを通して、地域における経済効果をどのように高めていくのか。

答：2025大会の経済効果は５億円程度であった。大きな課題である街なかの交流人口の拡大や市内周遊の促進に向け、商工観光部と情報発信の面で、また、農政部とは加工品の提供面などで連携を強化し、さらなる市の魅力を発信できるような大会にしたいと考える。



建設水道　衛生処理場脱水機更新工事

衛生処理場で汚泥を処理する遠心脱水機が老朽化し、脱水効率が低下しているため、工事請負費１億5,000万円を計上して多重円板型脱水機へ更新する。

（主な質疑と答弁）

問：現在の遠心脱水機２機は予備機として設置を継続するとのことだが、予備機の考え方は。

答：最低限のメンテナンスを行いながら、不測の事態が起きた際に使用したいと考えている。

問：遠心脱水機は設置から26年経過しているが、今後も使用可能なのか。

答：使用してみないとわからないが、費用をかけて処分するのではなく、使える限りは長く使用したい。

